



北方だより

横浜市中区諏訪町29

TEL 045-621-2966

<https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kitagata/>

主体的に学ぼうとする能力

校長 伊藤 洋子

新年度になり、一か月が経ちました。はじめのうちは少し照れながら交わっていた挨拶も、弾けるような挨拶に変わり始めました。

本校では、毎月1回程度、代表委員会を開いています。代表委員会は、子どもたち自らが学校生活をよりよくするために、課題について話し合い、具体的な計画や方法などについて決める場です。児童会活動の核であり、運営委員会が中心になって進めています。4年生から6年生までのクラス代表と6年生の委員会代表が出席します。

4月24日に、今年度第1回めの代表委員会を開きました。議題は「今年度の児童会スローガンについて」。提案理由は「昨年度児童会スローガンの変更があり、一部が『未来へつなげていく』という言葉になりました。150周年は終わりましたが、151周年めも今までがんばってきたことを大切に、さらに目標に近づけるようにしたいから。」ということ。そして、運営委員会は、昨年度のスローガンを受け継いで今年度も取り組みたいと提案しました。

事前に1年生から6年生までの各学級が話し合い、意見をまとめてカードに書いていました。カードをホワイトボードに並べてみると、原案どおりでよいという意見が並びました。カードを基にして、子どもたちは、あらためて意見を伝え合いました。出席していない1年生の意見は6年生が、2年生の意見は5年生が、3年生の意見は4年生が伝えました。

〈提案されたスローガン〉

みんなで協力 元気にあいさつ
かがやく笑顔とやさしさを
未来へつなげていく北方小

「みんなでなかよくできて、わくわくするから。」

「まだぜったいできていないことがあるから。きょう力やえがおを未来へつなげることもたいせつだから。」

「150周年で決めた目標でがんばりたいから。おぼえやすさもあるから。」

原案どおりでよいという意見が並んだ中に、一つだけ「“助け合い”を入れる。」という意見がありました。「1年生には“助け合い”のほうが分かりやすいと思うから“協力”を“助け合い”にするとよいと思う。」「“協力”と“やさしさ”の中に“助け合い”が入っているから“協力”のままでもよいと思う。」など、賛成と反対の意見を伝え合いました。なかなか意見はまとまらず、最後には、この代表委員会での話し合いを踏まえて、もう一度運営委員会が考えることになりました。

他と違う意見を大切に話し合ったからこそ、スローガンにある言葉一つひとつについて意味付けていくことになりました。時間が許せば、提案理由にある、昨年度はどのようなことを頑張り、今年度はどのようなことを更に頑張りたいと考えているか、具体的に話し合うことで、スローガンを昨年度と同じものにするということについても意味付けていくことになったことなのでしょう。いずれにしても、話し合いを通して、スローガンを自分たちの目標として意識したことに間違いありません。

本校が子どもに育てたい資質・能力の一つが、「主体的に学ぼうとする能力」です。主体的に学ぶためには、目標を立てることが大切です。目標を立てるためには、現状を捉える力、課題解決のために何をすべきか考える力が必要です。自らを見つめて自らを高める目標を立てることを大切に、「主体的に学ぼうとする能力」を北方の子どもたちに育てていきたいと思えます。